

Title	アダム、スミス記念会記事
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1911
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.5, No.3 (1911. 4) ,p.345(135)- 347(137)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	アダムスミス記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19110415-0135

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

Rösler, Ueber die Grundlehren der von A. Smith begründeten Volkswirtschaftslehre, 2. aufl., 1871.

v. Scheel, Turgot als Nationalökonom, in der Zeitschr. f. d. gesam. Staatsw., Bd. 24 (1868), s. 242-270.

Schubert, A. Smiths Moralphilosophie, in den Moralphilosophischen Studien von Wundt, VI, 1861, s. 552-604.

v. Skarzynski, A. Smith als Moralphilosoph und Schöpfer der Nationalökonomie, 1878.

Weiss, Zu Smiths Wealth of Nations in der Zeitschr. f. d. ges. Staatswiss., Bd. 33 (1877), s. 271-295.

Geyss, A. Smith und der Eigennutz, 1889.

附言 書目の此類別は Leser. に據りたるものなり、少しく服し難き點あれども姑らく之に従ひ置く。(S.K)

アダム、スミス紀念會記事

アダム、スミス紀念會は明治四十四年三月九日午後零時半を以て三田演説館に於て開催せられたり。其第一部は“Wealth of Nations”諸版本の展覽にして、演壇上に二個の長大なる書架を並べ、之に一七七六年公刊の第一版より最近一九〇四年の出版に係るキアン版に至るまで、新古百十數冊の“Wealth of Nations”を陳列し、一々添附するに出版の年號と簡單なる解題とを以てしたり。之等の百十數冊は慶應義塾書館の秘藏にして第一版より第十一版に至る(四、五兩版缺)原本(翻刻本に非ざる)二十五冊の外、Dugald Stewartの手に成るアダム、スミス全集數種のマツカロツク板、第一版と同年にダブリンに於て出版せられたるダブリン版等を包含し來會者の興味を惹く事最も大にして、紀念會の効果を助くる上に與つて甚だ力ありたるものゝ如し。

紀念會第二部は即ち紀念講演にして、午後一時より開始せられ先づ小泉幹事開會の辭に代へてアダム、スミスの生涯並に國宮論諸版本に就て略述し、之に次で左

記の順序を以て教授來賓諸氏の講演ありき。

- 一、アダム、スミスの純理經濟學 氣賀 教授
- 二、アダム、スミスの殖民論 堀切 教授
- 三、アダム、スミスの財政學 星野 教授
- 四、アダム、スミスの政治學 田中 教授
- 五、アダム、スミスと獨逸經濟學 Dr. Grünfeld (星野 教授通譯)
- 六、アダム、スミスの倫理學說 川合 教授
- 七、經濟學史上に於けるアダム、スミスの地位 Dr. McLaren

右の中一より六に至る講演は凡て本紀念號に収録する事を得たれば之を再説するの要なし。而して最後の講演者たるマツクラレン氏が演壇に現れしは既に午後七時に垂んとする頃なりしを以て、余は長く聽衆諸君を煩はすの甚だ心なき業なるを知るこの冒頭を以てアダム、スミスの經濟學史上に於ける地位の高く、國富論の廣く讀まれ影響を及ぼす事甚大なりしは其實質の價值に依る事因より論なければども、文辭の暢達叙事の巧妙も亦其勢力の一原因たりし事を否定す可らず。

例へば英吉利にて初めて靴足袋を穿てるものはエリザベス女皇なりきと云ふが如き興味ある實例逸話は全篇到處に發見せらるゝなり。諸君之を彼の乾燥なるマーションヤル、セリグマンの經濟原論に比較して其感果して如何との意味を説かれ、之を以てアダム、スミス紀念會は無事閉會を宣したり。

紀念會終了後晚餐會を三田東洋軒に開く來り會する者左の如し。

- 鎌田榮吉 田中一貞 堀江歸一 田中萃一郎 川合貞一 氣賀勘重 堀切善
 - 兵衛 星野勉三 マツクラレン 三邊金藏 小泉信三 高柳武勇 篠部勇藏
- 序に曰ふ。マツクラレン氏は當日講演の時間不充分なりしを以て別に本號の爲め一文を草す可しと約束せられたるも、氏の教務の多忙は遂に之を爲す事を許さざりしは遺憾とせざる可らず。(あ、さ)